

【NEWS RELEASE】

2022年3月2日

各位

株式会社三井住友銀行

21世紀金融行動原則「2021年度最優良取組事例 環境大臣賞（総合部門）」受賞について

株式会社三井住友銀行（頭取 CEO：高島 誠）は、21世紀金融行動原則事務局より選定される本年度の最優良取組事例として、「環境大臣賞（総合部門）」を受賞いたしました。

「21世紀金融行動原則」は、当行を含む幅広い金融機関が参加した日本版環境金融行動原則起草委員会により、持続可能な社会の形成のために必要な責任と役割を果たしたいと考える金融機関の行動指針として、2011年10月に採択されたものです。国内の金融機関299社（2022年1月13日時点）が署名しており、当行は2011年12月に署名いたしました。

当行は、2021年4月、本邦金融機関で初めて再生可能エネルギー等のグリーン適格プロジェクト向け融資を裏付け資産とするグリーン預金の取扱を開始いたしました。グリーン預金の取組が銀行の主要業務である預金業務を通じて、幅広いお客さまにESG金融に参画する機会を提供する仕組みであること等が評価され、今回の受賞に至りました。

SMBCグループは昨年“SMBC Group GREEN Innovator”を掲げ、グループのノウハウ集約・異業種連携による、金融の枠に捉われない多様なソリューションの開発等を加速させております。本取組のもと、SMBCグループ及び三井住友銀行はお客さまが抱える多様なサステナビリティに関する経営課題の解決をご支援することで、持続可能な社会の実現に貢献してまいります。

■受賞名 2021年度最優良取組事例 環境大臣賞 総合部門

■取組名称 本邦金融機関初「グリーン預金」の取扱開始

■受賞理由

- 銀行の主要業務である預金業務を通じて、幅広いお客様に ESG 金融に参画する機会を提供する仕組みであり、裾野の広がりを期待することができる。
- 2021年11月末時点で取組総額約400億円の実績があり、さらなるインパクトの拡大を目指して今後も引き続き取組んでいただきたい。
- 預金商品にグリーン関連商品が少ないという国内のESG金融の課題にパイオニアとして取り組んでおり、他の金融機関へ波及し始めている。
- 同預金のリテール向け展開ならびに国内でのESG金融商品開発のけん引役を引き続き担うことを期待し、環境大臣賞に選定する。

（ご参考）

■21世紀金融行動原則ホームページ

URL：<https://pfa21.jp/activity/bestaward/bestaward2021/sougou>

■「グリーン預金」の取扱開始について

URL：https://www.smbc.co.jp/news/j602267_01.html

以上